

ネパール政治ニュース (18年5月) ヘッドライン

政治	
内政	<ol style="list-style-type: none">(1) 6日、予算議会 (Budget Session) が開催。(2) 11日、ネパール政府関係者は、中国の支援によって行われているコテソール・カラッキ間のリングロード拡張工事が今年の雨期明けに完了する見込みである旨述べた。同区間の拡張工事は2013年に開始され、当初の工期は2017年であった。(3) 17日、ネパール共産党統一マルクス・レーニン主義派 (UML) とネパール共産党マオイストセンター (MC) が統合し、新党名を「ネパール共産党 (NCP)」とすることが発表。第一回党大会まで、KPオリ首相兼UML党首及びプシュパ・カマル・ダハルMC議長が新党の共同議長職を務める。NCPは、下院議会 (定数275) 174議席、上院議会 (定数59) 42議席を占めることになる。NCPは、大統領、副大統領のほか、連邦下院議会、連邦上院議会、州2以外のすべての州議会の議長及び副議長のポストを占めた。(4) 19日、NCPは、全会一致でオリ首相をNCPの議会政党リーダーに選出。(5) 21日、政府、施政方針演説の発表。(6) 21日、中国企業関係者、中国政府関係者、コンサルタントから成る8人のチームがネパールを訪問し、カトマンズ・ケルン (中国) 間鉄道建設のF/Sを開始。(7) 23日、閣僚の資産公開が行われ、最も資産を有している政治家は、マデシ系のラグビール・マハセト・インフラ交通大臣であった。(8) 24日、NCPの中央委員の比率について、旧UMLから241名、旧MCから200名となったことに対し、ダハル元MC議長は不満を述べた。(9) 25日、KPオリ首相が首相職についてから100日が経過。公共交通機関のシンジケートの禁止、金密輸の取り締まり、UMLとMCの統合、インド訪問時の合意事項の署名等が実績に挙げられる。(10) 28日、KPオリ首相兼NCP共同議長、ダハルNCP共同議長、ウペンドラ・ヤダブ連邦社会主義フォーラム・ネパール (FSFN) 党首は、2項目の合意文書に署名を行う。同合意に基づき、FSFNは (KPオリ首相率いる) 連立政権参加を決定。(11) 29日、カティワダ財務大臣が次年度予算案を議会に上程。

<p>外交</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4日、第12回S A A R C非公式財務大臣会合がマニラにて開催。ネパールからはカティワダ財務大臣が出席。 (2) 11-12日、ナレンドラ・モディ・インド首相が、K Pオリ首相の招待でネパールを公式訪問 (state visit) した。11日、両首相は、アルンⅢ水力発電所定礎式を行った。 (3) 12日、K Pオリ首相及びモディ首相は、共同声明において、農業、鉄道、水路における二国間の取り組みを効果的に実施することに合意。 (4) 15-18日、チェトリ国軍参謀総長はパキスタンを訪問。 (5) 25日、ナラヤン・カジ・シュレスタN C P報道官は、5日間の日程で中国を訪問。 (6) 30日-6月1日 シャヒドウル・イスラムB I M S T E C事務局長がネパールを訪問。30日、バンダリ大統領、K Pオリ首相、ギャワリ外相等を表敬。 (7) 30日-6月12日 ネパール・インド合同軍事演習「Surya Kiran 13」をインドにて実施。
-----------	---